

お家で出来る！算数爆伸び5つの秘策 練習プリント

秘策 1

- ポイント
1. 前の位 (大きい位) から考える
 2. 2けたごとに区切る

動画で紹介した問題の復習

(3) $1424 + 611 =$

(6) $100024 + 30136 =$

練習問題

(1) $1031 + 322 =$

(2) $1091 + 6309 =$

(3) $2043 - 1822 =$

(4) $30052 - 10028 =$

(5) $100030 - 30025 =$

秘策 2 足してちようどの数になる計算

- ポイント
- 一番小さい位の和を10にする
 - 他の位の和を9にする

練習問題

左の数との和を100になるように□にあてはまる数を求めよう

(1) $71 \rightarrow \square$

(2) $43 \rightarrow \square$

(3) $74.3 \rightarrow \square$

左の数との和を1000になるように□にあてはまる数を求めよう

(4) $128 \rightarrow \square$

(5) $555 \rightarrow \square$

秘策 3 引き算の工夫

工夫 A どれだけ離れているか (キヨリで考える)

ポイント

- 1. 引き算は2つの数がどれだけ離れているかと同じ
- 2. 間にはさまれるちようどの (キリの良い) 数字を作る

練習問題

(1) $610 - 596 =$

(2) $234 - 165 =$

(3) $1024 - 979 =$

(4) この問題は次の不足で考えるでもやってみます。
 $621 - 389 =$

(5) $21 - 19.45 =$

工夫 B 不足の考え方

ポイント

2けたで区切って下2けたに注目し、いくら不足しているのか考えよう

(1) $112 - 15 =$

(2) $127 - 39 =$

(3) $651 - 63 =$

(4) $621 - 389 =$

(5) $1506 - 923 =$

秘策 4 2けた×1けたの暗算

ポイント

かけ算はくりあがる数を小さく書き込むと筆算なしで解けます。

練習問題

(1) $15 \times 8 =$

(2) $17 \times 7 =$

(3) $19 \times 7 =$

(4) $23 \times 6 =$

これを利用して100マス計算などでどんどん筆算なしの練習をしてみよう

わり算への応用 (筆算なしで)

例題

$\overset{3}{\cancel{4}5}5 \div 7 = 6 \implies \overset{3}{\cancel{4}5}\overset{3}{5} \div 7 = \underline{65}$

まず、前2けたを見て $45 \div 7 = 6$ あまり3

答えに6を書いて、十の位の4の上にあまりの3を書き込む

そうすると次の位のわり算は $35 \div 7 = 5$ と分かる。

練習問題

(1) $522 \div 9 =$

(2) $876 \div 6 =$

(3) $792 \div 11 =$

(4) $676 \div 13 =$

(5) $1001 \div 13 =$

秘策 5 前の記号とセットで

ポイント 先頭の数には+を付ける。

全ての数を前の記号とセットにする線を引き、足し算・引き算に分ける

例 $+3 - 2 + 13 =$

足し算 $+3$

$+13$

-2

$+16$

引き算 -2

$+13$

-2

$16 - 2 = 14$

練習問題

(1) $16 - 5 - 3 =$

(2) $4 - 3 + 12 - 8 =$

(3) $9 - 5 - 7 + 10 - 3 =$

(4) $109 - 51 + 37 + 91 - 49 =$